

がんばれ! 少年少女たち!

子供は風の子!

～ひたちなか市立勝倉小学校～

がんばっている少年少女たち取材するため、勝倉小学校に行きました。校庭に入ると、いたるところにアスレチックの施設がありました。

平成3年度から、勝倉小学校では子供たちの体力作りを推進しています。主にマラソン、縄跳び、水泳、アスレチック、一輪車などです。アスレチックは特に力が入っていて、学校、保護者、地域が中心となって昭和54年からアスレチック委員会をつくり、施設の管理、保全に努めています。アスレチックは学期ごとに修繕され、万全な体制を敷いています。

子供たちは、授業中・休み時間を問わずアスレチックを利用して、休みの日にまで出てきて、遊んでいる子供たちもいるそうです。実際に子供たちは、とてもアスレチックになじんでいて、男の子も女の子も、高いところまで「ひょい、ひょい」と上っていました。



みんな「ハイッ、ポーズ!」



寒くないの～?

取材に行った日は北風が強く吹いていましたが、体力作りの成果が現れているのか、半そで、半ズボンで元気に体育の授業をしている子供たちがたくさんいました。改めて子供たちの元気さを実感し、元気を分けてもらったような気持ちになりました。

校長の水庭先生にお話をお伺いしたところ、「子供たちには勉強だけでなく、遊びの場が必要。アスレチックや一輪車などを行い触れ合うことで、思いやりや協調性を育てほしい」と子供たちへメッセージを送っていました。

また、「このようにアスレチックを使って楽しめるのも、地域の人たちのおかげです」と地域との連携の大切さについても話してくれました。

福祉もがんばってるよ!!!

勝倉小学校では、福祉についても力を入れています。

11月15日に行われたふるさとまつりでは、「親子で福祉体験」ということで、車椅子、点字、手話、アイマスクなどを使用し、福祉について体験学習をしました。また、手話サークルの方々を先生として招き、手話教室なども開いています。3年生は手話を取り入れた合唱で市音楽会に参加し、手話を取り入れた歌を歌い、好評を得ました。

対応してくださった金澤先生は、「子供たちは、日常的に福祉を学んでいます。奉仕作業で地域の空き缶拾いをしたりもします。みんな心の優しい子供たちばかりですよ」と話してくれました。



ただいま手話を勉強中～